

設計課題 小規模なリゾートホテル

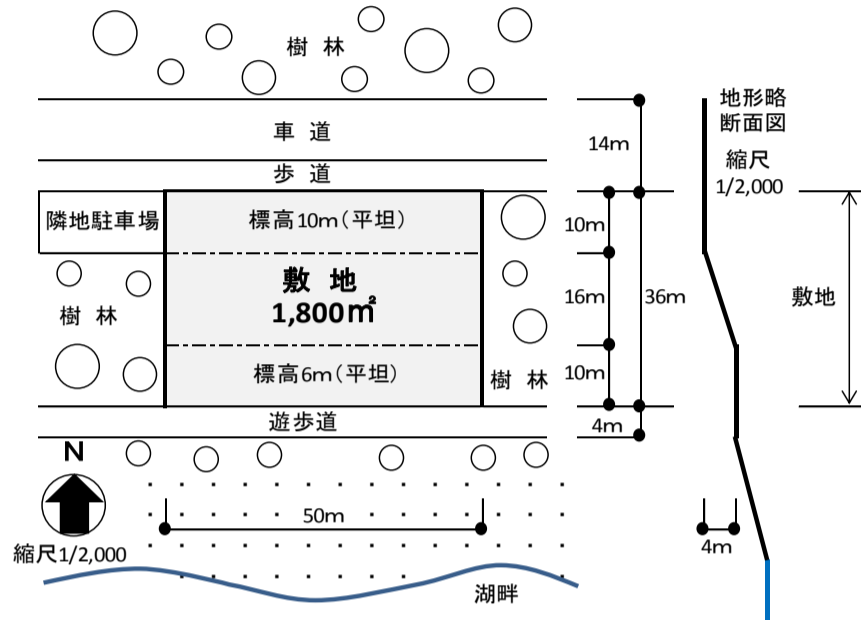
I. 設計課題

I. 設計課題

この課題は、ある地方都市郊外の湖畔に建つ、小規模なリゾートホテルを計画するものである。本計画は、敷地内の高低差を考慮して、南北に広がる豊かな自然景観を重視する。また、計画では、高齢者等や障害のある利用者の使用に配慮し、パッシブデザインを積極的に取り入れたものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、南北に斜面しているが、道路及び北側隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域外の区域内にあるが、景観保全のため、建ぺい率の限度は70%、容積率の限度は200%で、建築物の主要な屋根は南北に下る勾配屋根とする制限がある。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤の状況は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、地下水及び積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造・階数等  
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,000㎡以上、2,500㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、搭屋、バルコニー、屋外階段等については床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
*宿泊室A、B、Cには、それぞれバルコニーを設ける。			
宿泊部門	宿泊室A	・全10室(約25㎡/1室)を設ける。 ・洋室2人部屋とする。 ・バス、トイレ付きとし、ベッドを設ける。	約250㎡
	宿泊室B	・全4室(約50㎡/1室)を設ける。 ・洋室4人部屋とする。 ・バス、トイレ付きとし、ベッドを設ける。	約200㎡
	宿泊室C	・全1室(約50㎡/1室)を設ける。 ・車椅子利用者用として洋室2人部屋とする。 ・バス、トイレ付きとし、ベッドを設ける。	約50㎡
	リネン室		適宜
	自販機室		適宜
	ランドリー室	・宿泊者が利用する。	適宜
*地下1階から2階まで50㎡以上の吹抜けを設ける。 *南側遊歩道への出入口を設け、風除室を設ける。			
共用部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・レストラン、ラウンジ及び吹抜けを隣接させる。	適宜
	レストラン	・40人程度が利用する。 ・厨房を設ける。	適宜
	ラウンジ	・喫茶を設け、屋内で20人程度が利用する。 ・20人程度が利用する50㎡以上のテラスを設ける。	適宜
	大浴場	・男女別に各約200㎡とする。 ・男女別にマッサージルーム、休憩コーナー、脱衣室、便所、洗面、ロッカーを設ける。 ・浴室には、大浴槽、露天風呂、サウナを設ける。	約400㎡
	売店	・レジカウンターを設ける。	約80㎡
管理部門	事務室	・4人分の事務スペースを確保する。	適宜
	フロント	・カウンター、クロークを設ける。	適宜
	更衣室	・男女別に設ける。	適宜
	休憩室		適宜
	非常用備蓄倉庫	・屋外、屋内から搬入出できるようにする。	約40㎡
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水衛生、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜
*便所及び倉庫については適切に計画する。 *その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 駐車場は、地上平面駐車とし、送迎用マイクロバス(3.5m×7.0m)として1台分、車椅子利用者用として2台分、サービス用として1台分を設ける。  
利用者用及び従業員用は、敷地外の隣地駐車場を利用し考慮しなくてよい。
- 送迎用マイクロバス等が利用する車寄せは、車両動線に配慮して設ける。
- レンタサイクル用として、10台分の駐輪場を設ける。
- ごみ置場を設ける。
- (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティに配慮する。
  - 宿泊部門、共用部門及び管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とともに、避難等に配慮する。
  - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とし、日射の遮蔽に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 斜面地を考慮した建築物とし、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。給水設備は、受水槽方式とする。
  - エレベーターを適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。  
なお、各図面には、必要に応じ、計画に留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)地下1階平面図兼南側配置図 1/200	① 各階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積
(2)1階平面図兼北側配置図 1/200	ニ. 建築物の出入口 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(PS、DS、EPS) ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の特記事項に記載されている什器等
(3)2階平面図 1/200	チ. 宿泊室Aの室名(A1～A10)、宿泊室Bの室名(B1～B4)、 宿泊室Cの室名(C1)と表示する。ベッド等は代表1室に記載する。
(4)断面図 1/200	② 地下1階平面図兼南側配置図は、敷地の南側配置図を兼ねるものとし、次のものを図示又は記入する。 イ. 出入口 ロ. 植栽、通路 ③ 1階平面図兼北側配置図は、敷地の北側配置図を兼ねるものとし、次のものを図示又は記入する。 イ. 出入口、駐車場(台数を明記)及び車寄せ ロ. 地下1階の屋根、ひさし等となる部分 ハ. 植栽、通路及びごみ置場 ④ 2階平面図には次のものを図示又は記入する。 イ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路
(4)断面図 1/200	① 断面位置は、南北方向とし、エントランスホール(吹抜)を含み、建築物の全体及び勾配屋根の立体構成がわかる断面とする。 なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 搭屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、地下1階と1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 利用者のアプローチ、車回し、車寄せ及び駐車場の計画について工夫したこと
  - 傾斜地を考慮した風景・眺望を取り入れるために工夫したこと
  - 宿泊室A、B、Cの位置とした理由及び動線計画について工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - 勾配屋根の構造計画に工夫したこと
  - 耐震計画について配慮したこと
- 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 吹抜け空間に採用した空調方式と採用した理由
  - 採用した照明計画について工夫したこと
  - 屋内の設備スペースの床面積とメンテナンス計画について工夫したこと
- 建築物の環境負荷低減(熱負荷の抑制、省エネルギー等)について設備計画として工夫したこと